



国労東京支部

2024年1月1日

号外

国鉄労働組合東京支部機関紙

発行責任者 松田 恭明

編集責任者 佐藤 賢一

闘春



組合員・家族の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

昨年は柏営業統括センター(取手駅)、東京総合車両センター分会と2名の仲間の国労加入を勝ち取りました。

国労にとって、組織強化・拡大は最重要課題となっています。会社の激しい合理化攻撃により、人間らしく働き続けるためにも労働組合の必要性を感じ加入に至っています。更に全組合員の奮闘により、この流れを強めていきましょう。

昨年の春闘は一定程度のベースアップがありましたが、東日本・貨物会社ともコロナ禍の長期間による経営不安を理由とし、私たちの要求とはかけ離れた回答を行ってきました。このような中、長期間にわたる実質賃金の減少や物価高、また職場の中では合理化により労働強化の実態となっています。「この職場で働き続けられない」「将来展望が持てない」と若い仲間を中心に退職者が増加しています。

24春闘では職場・地域から大衆闘争を展開し、生活できる賃金と労働条件を勝ち取らなければなりません。同時に政治・国民的諸課題と連動させ、闘う春闘の再構築に全力を上げる必要があります。

最後に政治状況は自民党の「裏金問題」を始めに混沌としています。またロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの軍事衝突等、世界情勢も激動しています。

「格差と貧困」を拡大し、軍事大国化・憲法改悪を進めようとしている自公政権を終わりにするため職場・地域で闘い抜き、そして安心して生活できる社会を勝ち取らなければなりません。

東京支部としても先頭に立って闘い続ける決意を表明し、年頭のご挨拶と致します。

国労東京支部執行委員長 松田 恭明

今年もよろしく
願います

執行委員長		執行副委員長		書記長		執行委員		青年部長		会計監査	
松田	恭明	恒本	肇	鈴木	敏	市川	修	早川	義貴	中山	充郎
						千田	永			堀	知明
						佐藤	賢一			加藤	英樹
						島崎	将				
						東田	功二				
						伊東	克之				
						大原	真太郎				

<お詫びと訂正> 支部大会の発言集を作成しましたが、誤字脱字がかなりありました。どこがというレベルではないので、ご勘弁をお願いします。